

おおさき

第5号



# 市議会だより

編集発行 大崎市議会 郵便番号 989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24番地3 電話0229(52)5838



勇壮な神輿が繰り出す羽黒神社春季例祭  
(松山地域)

## 目次

- 第1回定例会 ..... 2～3ページ
- 議会の主な動き ..... 2～3ページ
  - 予算特別委員会 ..... 4～7ページ
  - 会派代表質問 ..... 8～10ページ
  - 人事・請願 ..... 10ページ
  - 意見書 ..... 11ページ
  - 議案と審議結果 ..... 11～12ページ
  - 編集を終えて ..... 12ページ

第1回定例会

# 平成19年度一般会計予算額 495億9,900万円を可決

平成19年第1回定例会は、2月14日に招集され、3月13日までの28日間の日程で行われました。

今定例会には、市長提出の平成19年度大崎市一般会計予算を初めとする予算案29件、条例案28件、専決処分承認案4件、人事案1件、報告1件、その他15件、及び議員提出議案7件が提出されました。

このうち、議案第71号大崎市地域自治組織支援基金条例に対し、修正案が提出されましたが、採決の結果、修正案は否決され、全議案とも原案のとおり可決されました。

**地域自治組織支援基金**  
提案された議案のうち、条例関係、補正予算関係などについて質疑が行われ、その主な内容は次のとおりです。

**地域自治組織支援基金**

**問** 地域自治組織支援基金の設置目的と活用方法は。

**答** 地域自治組織の育成及び活動を支援し、市民協働のまちづくりを推進するために、合併特例債を活用して基金を造成し、それを原資として積み立てた利息分を、地域自治組織活性化事業交付金の財源に充てるものである。

**鹿島台駅周辺地区整備基本計画**

**問** 鹿島台駅周辺地区整備基本計画の進捗状況とJRとの協議状況は。

**答** 鹿島台駅周辺地区の特性の整理、駅の利用実態の調査、周辺住民に対するアンケート

調査を実施し、現在、集計中である。JRとの協議は、現在行っていない。



JR 鹿島台駅

**宅地造成事業**

**問** 宅地造成事業で、販売実績がゼロに至った理由は。

**答** 松山駅前のライフシティマリスでは、平成9年当時の土地販売価格のままであり、周辺地域から見ても地価が高い状況になっており、売れな

い要因になっている。

**問** 今後の販売戦略等を検討しているのか。

**答** 販売価格の設定、魅力を増すような販売方法、民間との連携等を検討している。

**市営バス事業**

**問** 市バスの利用者が年々減少してきているが、交通弱者の足として重要な役割を果たしている。赤字対策も含め、今後どのように考えていくのか。

**答** 平成19年度中に、市全体の交通システムを検討したいと考えている。

**緊急通報システム**

**問** ひとりぐらし高齢者等緊急通報システム事業の対象者に、健康でも精神的な不安等を抱えている方を対象とすることはできないのか。

議会の主な動き

2月

14日 議員全員協議会

本会議（招集日）

予算特別委員会

情報化対策特別委員会

16日 本会議

民生常任委員会

議員全員協議会

本会議

建設常任委員会

本会議

22日 予算特別委員会

議員全員協議会

議会運営委員会

情報化対策特別委員会

23日 予算特別委員会

総務分科会、民生分科会

26日 総務分科会、民生分科会

27日 総務分科会、民生分科会

28日 総務分科会、民生分科会

建設常任委員会

3月

1日 産業分科会、建設分科会

民生常任委員会

2日 産業分科会、建設分科会

5日 産業経済活性化特別委員会

6日 予算特別委員会

議会運営委員会

**答** 実態を把握しかねている。もっとよいやり方がないのか検討している。

**すすくセンターの建設（鹿島台）**

**問** すすくセンターの建設構想には、どのような施設が入るのか。

**答** 田尻すまいる園をモデルに、保育所、幼稚園、子育て支援センターを兼ね備えた総合施設にしたい。

**災害への職員の対応**

**問** 国道108号土砂崩れ災害時の職員の応援体制は。



国道108号仮設道路

**答** 災害発生と同時に、本庁の災害対策本部と現地災害対策本部を設置し、危機管理監を初め消防防災課の職員が、

常時鳴子総合支所で対応した。現在、本庁、総合支所から毎日2人ずつ職員を派遣している。

**耐震改修促進事業**

**問** 昭和56年の建築基準法改正前の木造住宅はどれだけあるのか。また、補強対策の今後の進め方は。

**答** 推計で1万1千戸を想定している。国の木造住宅耐震化の目標が、平成27年まで、9割の耐震化と示されているが、本市では、平成20年を目途に耐震改修促進計画を策定し、積極的に事業展開が図られるよう、国の動向を踏まえながら推進していきたい。

**スマートインターチェンジ**

**問** 三本木パーキングエリアのインターチェンジ化の取り組みについて何う。

**答** 平成19年度の社会実験事業候補地として登録すべく、国・県等、関係機関と協議をしている。

今後、社会実験に向けた基礎調査資料の作成を急がなければならぬが、市の経費負担が少ないスマートインターチェンジとして、関係機関に要望活動を行っていききたい。

**市道の管理と改良**

**問** これまで現場確認等道路の管理業務を行っていた総合支所の地域整備課が平成19年度からなくなるようだが、本庁の建設課だけで市道管理を十分にやっていただけるのか。

**答** 名称はなくなるが、業務は残る。工事契約等を本庁で集中管理をするが、契約後は、事業内容により、本庁と総合支所が連携し、市道の管理を行っていく。

**問** 都市計画道路並柳福浦線の改良事業の工期延期、計画変更の理由は。



改良が進む都市計画道路並柳福浦線

**答** 国土交通省、地下埋設物の占有者等との協議により、工事区間内において同時施工の計画が持ち上がり、道路利用者等への影響を最小限にと

どめるため、施工計画の調整が必要となったためである。

**給食費滞納問題**

**問** 学校給食徴収金の未納者に対して、保護者の給料の差し押さえを視野に入れた対応を図る自治体もあるが、本市での対応は。

**答** 滞納状況を見ながら支払い督促を実施し、給料の差し押さえ等の法的手段については、一番効果的な方法を選び実施してみたい。

**市民会館の施設改修**

**問** 市民会館の利用促進のため、客席の改修が必要ではないか。

**答** 昭和41年建築で既に40年以上経過しており、バリアフリー化への対応もほとんどできていないので、今後総合的に検討していきたい。



市民会館

**第1回 定例会**

議会中継 (LIVE)  
アクセス件数  
**19,564** 件



**議会中継のお知らせ**

本会議開催中、インターネットによるライブ中継を実施しております。ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.city.osaki.miyagi.jp/gikai/>

**3月**

7日 行財政改革特別委員会  
総務常任委員会  
本会議

8日 本会議

12日 議会運営委員会  
本会議

13日 本会議  
議員全員協議会

19日 議員全員協議会

22日 産業経済活性化特別委員会  
行財政改革特別委員会

29日 議会運営委員会

**4月**

12日 行財政改革特別委員会

17日 情報化対策特別委員会

18日 情報化対策特別委員会

19日 議員全員協議会  
産業常任委員会



# 平成十九年度 予算特別委員会総括質疑

平成19年度の一般会計を初めとする15会計の予算並びに関連議案が提案され、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、総括質疑の後、分科会を設置し、審査を行いました。

分科会審査の経過及び結果については、分科会主査から報告があり、このうち、議案第4号平成19年度一般会計予算、議案第21号大崎市情報公開条例、議案第22号大崎市個人情報保護条例、議案第24号大崎市部設置条例の一部を改正する条例、議案第27号大崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に対し、それぞれ修正案が提出されましたが、採決の結果、各修正案は否決され、全議案とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

さらに、議案第4号平成19年度一般会計予算に対し、附帯決議3件が提出され、採決の結果、すべて可決されました。総括質疑及び答弁の主な内容は次のとおりです。

## グローバルネット

### 政策専門員（自動車産業振興担当）について

**問** 関東自動車工業株との人事交流で、政策専門員の目指す効果、職務内容、報酬額の根拠について伺う。

**答** 関東自動車工業株の求める部品調達等の地元企業との橋渡しやアドバイスをする技術系の人材であるが、技術の向上と豊富な情報で製品の納入と販路の拡大につなげたい。

た。危険度合いや法的責任の重さを理解してもらうため再度通知し、除却や改修の指導をしている。



通学路沿いにあるブロック塀

### 学校給食の今後と地産地消・食農教育の推進について

**問** 平成19年度の大崎市食育推進計画策定に向け、地産地消や食農教育の認識をどのように高め、今後の事業計画に反映していくのか。

**答** 学校給食は、子供の成長にふさわしい献立、食文化への関心を高め、旬を意識した新鮮で豊かな食材、食の教育の実践の場として考えられる。整備計画は、自校方式にこだわることなく計画を策定し、研修の機会を通して職員、職場、地域間の連携等をPRしていきたい。

## 大崎セブンネット

### 自動車関連産業 振興について

**問** 関東自動車工業株との人事交流により、市内の工業振興の具体策はどうか。

**答** 市内に自動車関連産業推進室を設置し、この人材活用により、市内企業の技術力向上を図りたい。

### 市民税、入湯税収納率の 設定根拠について

**問** 市民税、入湯税の収納率が低い設定だが、滞納繰越額が増加の中でのいかがなものか。

**答** 収納率の算定は、過去の収納実績をもとに3カ年の調定額、収入額、収納額を勘案し今回の予算ベースとした。

### 地域子育て支援センター 事業について

**問** 子育て支援センターとファミリーサポートセンターを、リオーネふるかわに移転し設置するとしているが、施設の建設は検討しなかったのか。

**答** 新市建設計画では、古川地域の子育て支援拠点施設建設事業を予定していたが、先送りになるよう、リオーネ

ふるかわに移すこととなった。加護坊二号源泉の早期活用について

**問** 二号源泉から出たお湯の活用には、温泉施設へのつなぎ込みが必要である。なぜ当初予算措置されていないのか。

**答** 合併市町村補助金対応の内示決定を見ることができなかったため、今後の補正で対応したい。

## 黎明クラブ

### 一時借入金について

**問** 平成18年度の一時借入金は、必要に応じ各会計に計上した。平成19年度は特別会計をも包含し、一般会計だけの予算措置である。これでは会計独立の原則に触れるのではないか。

**答** 会計区分に応じた独立の原則は指摘のとおりである。平成18年度は、持ち寄り予算で個別対応した。現在、出納部門は1つの通帳で管理しているため、一般会計で特別会計を含めて、一括して借入れをしている。

### 子どもが丘事業の給食センター整備について

問 給食センターの整備について、松山地域との協議が難航しているようだが、是非を判断する時期について伺う。

答 平成20年4月から実施する三本木中学校の給食について、生徒・保護者の要望を聞く説明会を行うとのことだが、混乱する懸念があり、住民への報告だけでよいのではないか。

問 建設地の判断は8月までに決定したい。説明会については、再度教育委員会で検討する。

## 大志会

### 部設置条例の一部を改正する条例について

問 組織機構再編で、業務量の均衡及び本庁と総合支所、各部、各課の連携強化は実現するののか。

答 課長ヒアリングをもとに、担当部長、総合支所長の意見を加え、職員の適正配置により、繁閑の縮小や連携を図れる配属に努め、行政課題に臨機応変に対応できる組織としたい。

### 関東自動車工業(株)との人事交流について

問 関東自動車工業(株)との人事交流に際し、出向職員の選考、身分、アドバイスとケア体制は万全か。

答 出向期間は2年間であるが職員は、半年交代で計8人を予定し、その職員には経験を生かせるポジションを考えたい。

## 日本共産党大崎市議会議員団

### 熊から児童を守るためスクールバスの活用を

問 小学校まで通学距離が4キロメートル以上の児童のためにスクールバスを運行しているが、熊の出没が頻繁にあり、学校の裏山からも出てくるような状況にかんがみ、送迎が困難な家庭の児童は、スクールバスに乗せるべきではないか。

答 清滝地区の場合、現在の乗車児童はわずかだ、希望者を乗せるだけのバスのスペースは十分あるのでお願いしたいとの声が、区長や住民からも出されているので、早急に対応すべきではないか。

以上の児童となっているが、どんな事情でもとはいかないと思うが前向きに検討したい。



徒歩で通学する児童

## みらい・おおさき

### オニコウベスキー場整備とフルワリーについて

問 オニコウベスキー場整備事業は圧雪車の購入のようにだが、修理等に対応できないのか。また、(株)温泉水ブルワリーの経営も振るわず、合併も視野に入れていると聞くがどうか。

答 現在の圧雪車は4台あるが、10年ほど経過しているため、買いかえの必要がある。また、ブルワリーの経営も赤字であり、運営は大変である。ただ、この工場を閉鎖すれば過疎債で資本投入した分のうちの残額7千900万円の一括償

還が求められる。今後、業務を見直し方向性を打ち出した



圧雪車(オニコウベスキー場)

## 社会民主党

### 平成19年度の重点施策の考えについて

問 厳しい財政状況が今後も続くことが想定される。新市建設計画の見直しも検討されるが、平成19年度の重点事業施策は。

答 予算編成に当たり、一層の行財政改革、質素節約を旨とし、地方応援プログラム、再チャレンジ政策などをやる気のあるところに投資し、市民の安心・安全を確保することを最優先に考えた。

## セントラル大崎

### 蕪栗沼マガンの里づくりについて

問 ラムサール条約指定の蕪栗沼のマガンは、人や光に敏感で警戒心の強い鳥であり、観光客の誘客は慎重に対応すべきだが、自然保護と観光行

政の整合をどうとるのか。  
答 客の増加でマガンへの影響がないとは言えないが、エコツーリズムやガイドツアーの実施、NPO法人による啓発等により、自然保護のよき理解者になつてもらえるスタイルを模索していきたい。

## 公明党

### 古川西荒井住宅の建てかえ工事の内容について

問 古川西荒井住宅は、耐震強度はすぐれているか。また、高齢者・障害者に対応したパリアフリーが図られているか。

答 震度7の揺れにも極めて被害が少なかった実例と経済面から、壁式構造を採用し、西風を考慮したエレベーターホールの設置、廊下の拡幅、転倒防止用の手すりの設置を考えている。

特別委員会  
予算委員  
傍聴人数  
90人  
※皆様の傍聴をお待ちしております。



予算特別委員会  
分科会報告

総務分科会

本分科会は、議案第4号関係分、同第6号、同第13号、同第21号、同第22号、同第24号から同第30号まで、同第32号から同第35号まで、同第42号から同第50号まで及び同第54号の26万件について審査を行いました。

議案第4号関係分に対しては、補助金交付の方針、災害時の情報共有、行財政改革の取り組み等について質疑がありました。

また、情報公開条例、個人情報保護条例については、議会の情報公開のあり方、情報公開審査会への諮問の考え方についての質疑があり、活発な議論がなされました。

採決に当たっては、議案第21号及び同第22号に対して、反対、賛成それぞれの立場から討論があり、起立採決の結果、否決すべきものと決定し、議案第4号関係分、同第27号及び同第28号については、反対討論があり、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、他の議案は全

会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、議案第4号関係分については、予算特別委員会に附帯決議案を提出する旨の発言がありました。

民生分科会

本分科会は、議案第4号関係分、同第7号から同第9号まで、同第18号、同第36号から同第39号まで、同第51号及び同第52号の11万件について審査を行いました。

議案第4号関係分に対しては、地域子育て支援センター及びファミリーサポートセンターのリオーネふるかわへの移転、地域自治組織担当の政策専門員配置等について質疑がありました。

また、病院事業会計予算に対し、病院建設のための最低限の経営改善努力目標値はど



の辺にあるのかなどの質疑がありました。

採決に当たっては、議案第4号関係分については、2人の分科員から、予算特別委員会で修正案を提出する旨の発言があり、起立採決の結果、可否同数となり、主査裁決により否決すべきものと決定し、他の議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、議案第4号関係分については、2人の分科員から、予算特別委員会で附帯決議案を提出する旨の発言がありました。

産業分科会

本分科会は、議案第4号関係分及び同第5号の2万件について審査を行いました。

議案第4号関係分に対しては、シルバー人材センターの運営のあり方、食育推進員、自動車産業等工業振興担当の政策専門員等について質疑がありました。

また、市有林事業特別会計予算に対し、市有林の計画的な管理について質疑がありました。

採決に当たっては、全会一

致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。



建設分科会

本分科会は、議案第4号関係分、同第10号から同第12号まで、同第14号から同第17号まで、同第19号、同第20号、同第23号、同第31号、同第40号、同第41号及び同第53号の15万件について審査を行いました。

議案第4号関係分に対しては、除雪基準、大型除雪機械の更新、住宅使用料等滞納分の収納対策、浄化槽整備事業（市町村型等）について質疑がありました。

また、水道事業会計予算に対し、コンビニエンスストアでの水道料金の収納等について質疑がありました。

採決に当たっては、議案第4号関係分、同第10号から同

討 論

議案第4号 平成19年度大崎市一般会計予算に対する修正案（子育て支援センター事業関連）

**賛 成** 子育て支援センターは、これまで保育所に併設されており、十分な連携が図られていた。リオーネふるかわへの移転は、保育環境、立地条件等の検討が不十分であり、修正案に賛成する。

**反 対** 子育て支援センター等のリオーネふるかわへの移転は、交通の利便性、駐車場の確保もよく、大崎一円への波及効果が期待され、待機児童の解消策にもつながる。また、転々とするのを避けるべきであり、原案に賛成し修正案に反対する。

第12号まで、同第19号及び同第23号について、反対、賛成それぞれの立場から討論があり、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、他の議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 予算特別委員会委員長報告要旨

本委員会は、議案第4号から同第54号までの議案の付託を受け、平成19年度予算並びに関連条例案等の審査を行いました。

2月22日及び23日には総括質疑を行い、23人の委員から、予算編成の基本的な考え方、行財政改革の推進と財政運営の健全化方策、組織機構改革と職員定数の削減手法、補助金の見直し、政策専門員の配置、地域子育て支援センター事業などについて活発な議論が展開されました。

2月26日から3月2日まで、各分科会において審査を行い、3月6日に委員会を再開し、分科会主査の審査経過報告受け、総務分科会では、議案第21号大崎市情報公開条例、及び議案第22号大崎市個人情報保護条例の2力件を否決すべきと決定した旨の報告があり、民生分科会では、議案第4号平成19年度大崎市一般会計予算関係分を否決すべきと決定した旨の報告があり、主査報告に対して14人の委員から質疑がありました。

年度大崎市一般会計予算、議案第21号大崎市情報公開条例、議案第22号大崎市個人情報保護条例、議案第24号大崎市部設置条例等の一部を改正する条例、及び議案第27号大崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に対しては、原案の一部を修正する案が委員から提出され、それらの修正案について質疑が行われました。

次いで、修正案に反対し、原案賛成の立場から、また修正案に賛成の立場から、11人の委員から討論がありました。

採決に当たっては、議案第21号大崎市情報公開条例、議案第22号大崎市個人情報保護条例、議案第24号大崎市部設置条例等の一部を改正する条例、及び議案第27号大崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、起立採決の結果、修正案は否決され、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第10号平成19年度大崎

市下水道事業特別会計予算、

議案第11号平成19年度大崎市

農業集落排水事業特別会計予

算、議案第12号平成19年度大

崎市浄化槽事業特別会計予算、

議案第19号大崎市浄化槽整備

事業分担金条例及び議案第23

号大崎市浄化槽整備事業条例、

及び議案第28号大崎市特別職

の職員で常勤のもの給与及び

旅費に関する条例及び大崎

市教育委員会教育長の給与、

勤務時間その他の勤務条件に

関する条例の一部を改正する

条例については、起立採決の

結果、原案のとおり可決すべ

きものと決定いたしました。

議案第5号から同第9号ま

で、同第13号から同第18号ま

で、同第20号、同第25号、同

第26号、及び同第29号から同

第54号までの40力件について

は、全会一致で原案のとおり

可決すべきものと決定いたし

ました。

議案第4号平成19年度大崎

市一般会計予算については、

起立採決の結果、修正案は否

決され、原案のとおり可決す

べきものと決定いたしました。

すべて可決されました。

## 附帯決議概要

### 附帯決議①

- 1 市民の目線から、むだ遣いと評されないよう福祉の向上に取り組むこと。
- 2 難病患者等日常生活用具給付事業を改善すること。
- 3 地域自治組織や集落の活動が停止・後退することのない支援を行うこと。
- 4 大崎市の入札制度等を見直し、執行すること。

### 附帯決議②

旧古川市において導入した、病院事業会計補助金の「キヤップ制」による減額分を計画的に病院事業会計に支出すること。

### 附帯決議③

- 1 総合的な財政健全化計画を早急に策定すること。
- 2 地域子育て支援センター・ファミリーサポートセンター事業の実施に当たっては、最も効率的な予算の運用に留意し、事業の推進に取り組むこと。

## 討 論

議案第4号 平成19年度大崎市一般会計予算に対する修正案（政策専門員関連）  
議案第27号 大崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案

## 賛 成

政治経験の豊富な市長と行政経験や民間経営感覚を持つ2人の副市長がいる中で、市政全般に対する助言・指導を行う政策専門員である必要性はなく、アドバイザーという位置づけで十分に対応できるので、修正案に賛成する。

## 反 対

専門員は市長の特命を担うものであり、困難な事業に取り組むため、専門員の能力を最大限活用することで、大きな効果が得られるものであり、原案に賛成し修正案に反対する。



# 会派代表質問

本市議会は、第1回定例会に限り会派代表質問を実施しており、2月16日、19日、20日の3日間にわたって行われ、9会派の各代表議員が市政全般にわたり、市長の見解をただしました。

## グローバルネット

青沼智雄

### 環境行政について

**問** 地球温暖化防止に対する市の今後の取り組みと、鳴子温泉向山地区の産廃最終処分場問題と、大郷町が誘致を表明した低レベル放射性廃棄物最終処分場問題への考えを伺う。

**答** 地球温暖化に対しては、市民・事業者・行政が協働して取り組む必要がある。今後（仮称）地球温暖化対策実行計画を策定し取り組む。向山の件は、事業者の対応を見きわめながら白紙撤回に向け努力したい。大郷町の件は、隣接自治体として今後のまちづくりや地域振興上の観点から、処分場建設に反対していく。

### 新交通システムの創設について

**問** 地域外への通院や中心市街地などへの移動を核とし、将来的には大崎市内各地域の観光や買い物視野に入れた住民サービスの向上と、地域の活性化を実現し得る可能性のあるデマンド交通システム創設についての考えを伺う。



住民の重要な足となっている市営バス

**答** 各地域での移動手段としては、デマンドバスとコミュニティバスとの組み合わせを考えており、広域的に既存の路線バスや鉄道の活用も含め、現在検討中である。

### 大崎市民病院本院と岩出山分院の建設時期について

**問** 大崎市民病院は県北部の拠点病院として重要な役割を担っており、その責任は重い。市長は、設置者として、本院と岩出山分院の建設時期と建設場所を早期に明確にすべきではないか。

**答** 市政の立て直しと病院経営の改善を優先し、病院独自の検討会議を開始し、また市長部局も（仮称）大崎市民病院改新検討会議を立ち上げる予定であり、平成19年8月ごろまでには建設時期を示し、建設場所については周辺整備も考慮しながら、考え方に反映させていきたい。

### 大崎セフンネット

三神 祐司

### 危機管理及び消防防災について

**問** 自主防災組織の未結成地域の解消及び消防の機動方向

上のために積載車を導入すべきと思うが、導入、更新の年次計画と消火栓、防火水槽の整備計画について伺う。

**答** 防災組織の結成支援を行い、積載車の導入、消火栓、防火水槽の設置については、年次計画を立て整備していく。

### 地域自治組織の強化と機構改革について

**問** 今後、地域自治組織を各市町で結成し育成強化していかねければならないが、市民協働の推進方法と機構改革をどう進めるのか。

**答** 人的支援を行うため、市民協働推進部を新設し、また公民館職員も市長部局にお

### 組織機構の見直し（部）

【再編前】	【再編後】
総務部	総務部
企画財政部	市民協働推進部
保健福祉部	民生部
市民生活部	産業経済部
産業経済部	建設部
建設部	

る地域づくりが担えるよう併任辞令で対応し、市民にわかりやすく、最大の効果が発揮できるよう努めたい。

### 認知症対策について

**問** 我が国は、高齢化社会に伴い認知症高齢者が急増しているが、健康増進計画策定に当たり、今進めている健康調査や追跡調査に基づく認知症患者の救済策や予防策をどう考えているのか。

**答** 健康増進計画では一次予防に重点を置いており、二次、三次予防は、地域包括支援センターや医療介護福祉部門と機能分担して進めたい。

### 岩出山分院のあり方について

**問** 新市建設計画において、訪問看護総合支援センターを併設するとある岩出山分院を、大崎西部の拠点病院としてどのように考えているのか。

**答** 訪問看護総合支援センターについては、旧岩出山町のあったか村構想における保健・医療・福祉の連携を尊重し、改新検討会議と院内検討会議の議論を踏まえ平成19年8月ごろまで見直しを示したい。



# 黎明クラブ

氷室 勝好

## 総合計画策定方針について

**問** 旧市町の総合計画の理念を最大限に尊重し、新市建設計画、さらには市長公約、市民検討会議の提言を加え、総合計画審議会の答申を受け、本市の総合計画の策定に臨むと示されているが、その整合性について伺う。

**答** 市長の公約や新市建設計画等の整合性を図るため、6分類し、その連携や市民と行政の協働の観点から検討を加え、総合計画審議会の答申を受け、5月に中間報告書を議会に示したい。

## 本市の組織機構再編について

**問** 総合支所は、市民への行政サービスや福祉行政等の重要な行政機関であり、その機能強化が求められているが、組織再編による職員の増減は、

**答** 部・課・係の統廃合によ

り、実質稼働人員の確保を行い、創意工夫により、サービス向上に努力したい。



三本木総合支所

## 財政運営について

**問** 財政運営上極めて重要な財政指標である実質公債費比率など8項目が警戒域となる「短期財政見通し」を市民に説明したが、その理解及び市政への期待と信頼、さらに、本市の一体感の醸成への取り

組みについて伺う。

**答** 平成19年度を初年度として、大崎市総合計画を策定し、その実施における長期財政計画を作成し、その具体的内容について、市民説明会を開催したい。

## 日本共産党大崎市議会議員団

小沢 和悦

## ワーキングプア等労働環境改善対策について

**問** 厚労省の外郭団体の調査で「少子化は、若者の収入に大いに関係する」と指摘されている。大崎市内の誘致企業でも非正規労働者が職場の7割くらいと聞いている。労働者派遣法は、製造業1年、それ以外は3年派遣で働いてきた労働者に正社員となるよう勧めることが義務化されている。非正規労働者がどれだけいるのかの実情把握とあわせ、これらの趣旨の周知徹底を図り、正社員への登用を全誘致企業等に要請してはどうか。

**答** ワーキングプア問題はゆゆしきことと思っている。関係機関、企業に働きかけていきたい。

## 今の入札制度は余りにも問題がある



ハローワーク古川

**問** ①入札参加対象地域を極端に狭め、談合を誘発するとか、落札業者がないという問題、②工期内に工事が完了しないという問題、③資格審査不十分により下請業者に工事代金を支払わない業者の入札参加の問題、ペーパーカンパニーのようなところの入札参加の問題等々直ちに改善すべきではないか。

**答** 談合を誘発しているとは思わない。書類審査をしているので問題はないと考える。

# みらい・おおさわぎ

佐藤 勝

## 「20万都市構想」の柱に「循環型経済戦略」を

**問** 20万都市実現のための政策として「循環型経済戦略」と「景観行政団体」そして「子供支援策の充実」等、1万人雇用機会の創出には産業振興計画における仮称「産業振興機構」の早期立ち上げとコミュニケーションの支援方法、また社会復帰促進センターを県有地に誘致すべきではないか。

**答** 自治体経営の観点から20万人は自立の目標値で実現は可能と考えており、諸施策はそのためのものでもある。三本木用地については片内検討委員会が協議をしていく。

## 上杉鷹山に学ぶ行政改革について

**問** 「さわやか」運動の徹底と「もったいない」運動の実践、また職員の提案制度と昇任・昇格のスタンス、勸奨退職制度の新設、そして退職者へのNPO法人設立の支援策を講ずるべきではないか。

**答** もったいないの精神は大

切であり、意識高揚に努めた  
い。職員の提言は能力向上の  
仕組みづくりととらえ取り組  
みたい。退職職員のNPO法  
人や新たな株式会社設立は、  
職員の意思や自立性にゆだね  
ることとし、地域自治組織と  
の中で委託など検討していく。

### 大志会

富田 文志

#### 市民の安全・安心な暮らしについて

問 小型動力ポンプ積載車の  
地域格差解消と配備計画につ  
いて伺う。

答 予防消防の充実に積載車  
の導入は欠かせない。財政的  
に厳しいが地域バランスを考  
慮しながら整備していきたい。

問 田尻駅前駐在所を24時間  
勤務の交番にする考えは。

答 古川署や県警へ、その実  
現の可能性を探りながら要望  
していきたい。

#### 20万都市構想の枠組みについて

問 市長が掲げている構想は  
大崎市の人口を20万人にする  
ことか。大崎広域圏や栗原・  
登米圏域を含めた考えを伺う。

答 自前で20万人を目指し、

大崎圏域の4町(約22万人)  
と連携を深め、栗原・登米と  
県北圏域の医療圏・商圈・学  
区・消防防災など、生活圏の  
関係で政策的な連携を進めて  
いきたい。

#### 三本木給食センターについて

問 三本木給食センター整備  
事業の説明会のあり方と今後  
の方向性は。

答 三本木での開催が予定よ  
りおこなわれている。今後の三本  
木地域の説明会は、新学期の  
4月早々に開催し、理解を得  
ていきたい。

#### 社会民主党

豊嶋 正人

#### 事務事業の優先順位と市民要望の把握について

問 市民生活の安全・安心を  
確保するため、事務事業の優  
先順位の基準と市民要望把握  
の手法について伺う。

答 必要性、公共性、公益性、  
戦略性を基準項目に政策面か  
ら総合判断する。市長公約や  
総合計画は優先するが、事務  
事業の優先順位は毎年度見直  
し、市民意向調査も活用する。

#### 政策専門員の選任は行政改革に逆行ではないか

問 優秀な人材がたくさんい  
る中で、政策専門員の配置は、  
行政改革に逆行し、職員が士  
気低下になるのではないかと  
懸念する。

答 その道の専門家を予定、  
政策推進や市民サービスに一  
層の充実が図られる。職員に  
はよい刺激になり、能力向上  
にも結びつくと考えている。



#### セントラル大崎

高橋 憲夫

#### 1万人雇用や20万都市構想の矛盾について

問 現状の有効求人倍率の低  
さや少子高齢、人口減少の中  
で、期限の切らない施策推進

は一貫性がなく現実から乖離  
しているが、その実現の可能  
性と真意を伺う。

答 国がつくった指標や指針  
も半年や1年で変わる御時世  
である。いつの時代も大きな  
歴史的な転機るとき、果敢に  
歴史を切り開いてきた先人・  
偉人たちがいたが、共通して  
変人であった。矛盾を指摘さ  
れるということは、歴史に名  
を残す要素があると考えてい  
る。

#### 公明党

山田 和明

#### 行政改革は市場化テストの導入から

問 自治体は、常に意識しな  
がら、行政の効率化を進める  
不断の努力が求められている。  
財政が厳しい中、小さな政  
府を目指す観点から、市場化  
テストの導入の具現化につい  
て伺う。

答 官民競争入札または民間  
競争入札を実施する場合にあつ  
ても、見直しすべき事務事業  
の選定において、聖域を設け  
ることなく適切に進めていき  
たい。市の関与やその他の規  
制についても必要最小限のも  
のとしていきたい。

#### 人事

##### ◎人権擁護委員

浅野 昭氏  
古川浦町10番25号

菊地 晴 子氏  
鹿島台船越字本屋敷115番地

大場 伸 子氏  
鳴子温泉鬼首字百目木16番地

##### ◎教育委員会委員

高橋 裕 子氏  
鳴子温泉字星沼79番地172

#### 請願

今定例会で審議された請願  
は、次のとおり決定されまし  
た。

##### 【不採択としたもの】

◎平成18年請願第2号 厳し  
い財政事情に鑑み、鹿島台  
駅周辺地区整備事業等新市  
建設計画の根本の見直しを  
求める請願

##### 【採択としたもの】

◎請願第1号 乳幼児医療費  
助成制度の対象年齢拡大を  
求める請願

#### 第1回例会

傍聴人数

62人

※皆様の傍聴をお待ちしております。



意見書

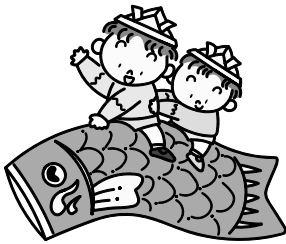
今定例会において、議員提出による意見書4件（議案第75号（同第78号）が提出され、原案のとおり可決されました。）

- ◎第75号 療養病床削減の中止等を求める意見書
- ◎第76号 日豪EPA交渉に関する意見書
- ◎第77号 森林環境税の創設を求める意見書
- ◎第78号 公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書

決議

今定例会で決議案1件が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。

- ◎決議案第1号 低レベル放射線廃棄物最終処分場の建設に反対する決議



議案番号	議案名	審議結果
報告第1号	専決処分の報告について	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
議案第1号	教育委員会委員の任命について	原案承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて	
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	
議案第4号	平成19年度大崎市一般会計予算	原案可決
議案第5号	平成19年度大崎市市有林事業特別会計予算	
議案第6号	平成19年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計予算	
議案第7号	平成19年度大崎市国民健康保険特別会計予算	
議案第8号	平成19年度大崎市老人保健特別会計予算	
議案第9号	平成19年度大崎市介護保険特別会計予算	
議案第10号	平成19年度大崎市下水道事業特別会計予算	
議案第11号	平成19年度大崎市農業集落排水事業特別会計予算	
議案第12号	平成19年度大崎市浄化槽事業特別会計予算	
議案第13号	平成19年度大崎市宅地造成事業特別会計予算	
議案第14号	平成19年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計予算	
議案第15号	平成19年度大崎市鳴子上原簡易水道事業特別会計予算	
議案第16号	平成19年度大崎市鳴子向山簡易水道事業特別会計予算	
議案第17号	平成19年度大崎市水道事業会計予算	
議案第18号	平成19年度大崎市病院事業会計予算	
議案第19号	大崎市浄化槽整備事業分担金条例	
議案第20号	大崎市水道事業運営審議会条例	
議案第21号	大崎市情報公開条例	
議案第22号	大崎市個人情報保護条例	
議案第23号	大崎市浄化槽整備事業条例	
議案第24号	大崎市部設置条例等の一部を改正する条例	
議案第25号	大崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第26号	大崎市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第27号	大崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第28号	大崎市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び大崎市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	
議案第29号	大崎市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	
議案第30号	大崎市都市計画税条例の一部を改正する条例	
議案第31号	大崎市手数料条例の一部を改正する条例	
議案第32号	大崎市立子育て支援総合施設条例の一部を改正する条例	
議案第33号	大崎市心身障害児就学指導審議会条例の一部を改正する条例	
議案第34号	大崎市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例	
議案第35号	大崎市体育施設条例の一部を改正する条例	
議案第36号	大崎市保育所条例の一部を改正する条例	
議案第37号	大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第38号	大崎市国民健康保険高額療養費及び出産費貸付条例及び大崎市国民健康保険高額療養費及び出産費貸付基金条例の一部を改正する条例	
議案第39号	大崎市健康づくり推進協議会条例及び大崎市母子保健連絡協議会条例の一部を改正する条例	

議案番号	議案名	審議結果
議案第40号	大崎市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第41号	大崎市道路占用料条例等の一部を改正する条例	
議案第42号	大崎市消防団条例等の一部を改正する条例	
議案第43号	大崎市助役定数条例等の一部を改正する条例	
議案第44号	宮城県市町村職員退職手当組合格約の変更について	
議案第45号	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	
議案第46号	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合格約の変更について	
議案第47号	色麻町外一市一ヶ村花川ダム管理組合格約の変更について	
議案第48号	吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合格約の変更について	
議案第49号	大崎市地域広域行政事務組合格約の変更について	
議案第50号	大郷町に公の施設を設置させること及び大郷町の公の施設を利用することの協議について	
議案第51号	石巻市、登米市、栗原市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町及び大郷町に公の施設を利用させること並びに栗原市の公の施設を利用することを廃止する協議について	
議案第52号	石巻市、登米市、栗原市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町及び大郷町に公の施設を利用させること並びに栗原市の公の施設を利用することの協議について	
議案第53号	市道の路線廃止及び認定について	
議案第54号	字の区域をあらたに画することについて	
議案第55号	専決処分の承認を求めることについて	
議案第56号	専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第57号	平成18年度大崎市一般会計補正予算	
議案第58号	平成18年度大崎市市有林事業特別会計補正予算	
議案第59号	平成18年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計補正予算	
議案第60号	平成18年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算	
議案第61号	平成18年度大崎市老人保健特別会計補正予算	
議案第62号	平成18年度大崎市介護保険特別会計補正予算	
議案第63号	平成18年度大崎市下水道事業特別会計補正予算	
議案第64号	平成18年度大崎市農業集落排水事業特別会計補正予算	
議案第65号	平成18年度大崎市浄化槽事業特別会計補正予算	
議案第66号	平成18年度大崎市宅地造成事業特別会計補正予算	
議案第67号	平成18年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計補正予算	
議案第68号	平成18年度大崎市鳴子上原簡易水道事業特別会計補正予算	
議案第69号	平成18年度大崎市水道事業会計補正予算	
議案第70号	平成18年度大崎市病院事業会計補正予算	
議案第71号	大崎市地域自治組織支援基金条例	
議案第72号	大崎市感覚ミュージアム条例等の一部を改正する条例	
議案第73号	指定管理者の指定について	
議案第75号	療養病床削減の中止等を求める意見書	
議案第76号	日豪EPA交渉に関する意見書	
議案第77号	森林環境税の創設を求める意見書	
議案第78号	公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書	
議案第79号	大崎市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第80号	大崎市議会会議規則の一部を改正する規則	
議案第81号	大崎市議会委員会条例の一部を改正する条例	
決議案第1号	低レベル放射性廃棄物最終処分場の建設に反対する決議	

※      は議員提出議案です

◆情報化対策特別委員会◆

- |      |     |    |    |    |
|------|-----|----|----|----|
| 委員   | 委員長 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 大友文司 | 高橋  | 相澤 | 中鉢 | 相和 |
| 友橋   | 佐藤  | 久義 | 和弘 | 三郎 |
| 文憲   | 辰義  | 久義 | 和弘 | 三郎 |
| 司夫   | 雄義  | 久義 | 和弘 | 三郎 |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |

**編集を終えて**

大崎市が誕生して一年が過ぎました。今回の平成19年第1回定例会では、「行財政改革」「まちづくり」元年と位置づけられた伊藤市長の本格的予算が可決、成立いたしました。中でも、市の財政難を乗り越えるため、市長みずからの期末手当の全額返上と常勤特別職の期末手当を50%削減することが提案され、可決いたしました。

議会においても、議会運営や議員報酬等の「議会改革」について、現在、検討が行われています。

大崎市に生まれ、育ち、住んでよかった、夢あふれる大崎市を築くため、我々議員も市民皆様の御理解と御協力をいただきながら、一緒に知恵と汗を流し、子供たちに誇れる大崎市を築いていく決意であります。